

平成 29 年度 第 1 回恵那市スポーツ推進審議会 議事録

1. 開催日時

平成 29 年 10 月 12 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

2. 開催場所

恵那市役所 4 階第 2 委員会室

3. 出席委員 9 名

4. 欠席委員 2 名

5. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱書の交付
- (3) 審議会会長あいさつ
- (4) 教育委員会事務局スポーツ課長あいさつ
- (5) 自己紹介
- (6) 会議の成立
- (7) 議事
 - ①恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について・・・資料 1
- (8) その他
- (9) 閉会

6. 議事要旨

(1) 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ただ今から、平成 29 年度第 1 回恵那市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。
(2) 委嘱書の交付	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> はじめに、平成 29 年度の人事異動等により恵那市スポーツ推進審議会委員にご就任いただきます 5 名の皆様に委嘱書を交付させていただきます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委嘱書交付：新委員 5 名に交付。 任期は、平成 30 年 3 月 31 日まで。
(3) 会長あいさつ	
会長	<ul style="list-style-type: none"> 5 名の皆様には、本日委嘱書をお渡しさせていただきました。任期までよろしくお願いたします。 本日は事務局から議題の内容を説明いただき、その後委員の皆様からご意見をお伺いしたいと考えておりますので、慎重審議をお願いいたします。
(4) 教育委員会事務局スポーツ課長あいさつ	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本日は、大変お忙しい中、平成 29 年度第 1 回恵那市スポーツ推進審議会にご出席いただき、ありがとうございます。本日は、新しい委員の皆様には委嘱書を交付させていただきました。11 名の委員の皆様、よろしくお願いたします。恵那市スポーツ推進計画と行動計画を着実に推進していくため、委員の皆様それぞれの立場で積極的に取り組んでいただいているところです。各関係者の皆様それぞれの取り組みに対し改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。
(5) 自己紹介	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本日は、今年度最初の審議会となります。新しく委員になられた方もお見えになりますので、会長から順に自己紹介をお願いいたします。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> 所属、役職、氏名を会長から順に実施。(全委員)
(6) 会議の成立	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本日の会議の成立についてご報告いたします。恵那市スポーツ推進審議会条例第 6 条・第 2 項の規定により、委員の半数以上がご出席されておりますので、本審議会が成立することをご報告させていただきます。 これ以降の進行につきましては、恵那市スポーツ推進審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、会議は会長が議長となるとありますので、会長をお願いいたします。
(7) 議事 恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について	
会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは「議事 1」恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について。事務局説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 新しい委員の皆様には、「市スポーツ推進計画」、「市スポーツ推進行動計画」をお配りさせていただきましたので、お時間のあるときにご覧ください。本日は、恵那市スポーツ推進行動計画に定めた 5 つの基本方針である「健康づくり」、「子どもの健全育成」、「コミュニティづくり」、「観光交流」、「競技力向上」について、ご説明いたします。

	<ul style="list-style-type: none"> ・『健康づくり』について <ul style="list-style-type: none"> 「健幸ウォーキングプロジェクト」について <p>11月18日(土) 恵那峡周辺を会場として5キロメートル程度の「エーナ健幸ウォーキング」、12月9日(土)に明知鉄道沿線の駅を発着として約13キロメートルと6キロメートルの2コースでウォーキング大会を予定しています。「みんなで始めよう健康体操プロジェクト」については、身近にできる運動として「体操」を取り上げ、「ラジオ体操」、「エーナ健幸体操」を各地域等で推進しています。そのきっかけづくりとして、8月4日(金)まきがね公園多目的広場を会場として、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催しました。当日は、子どもからお年寄りまで1,000人以上の参加があり、皆さんから大変気持ちよく運動できたなど好評をいただきました。</p> <p>その他、障がい者スポーツについては、関係団体の代表者、スポーツ課、体育連盟の職員が集まり、障がい者スポーツとしてどのようなニーズがあるのか、またそれに対応できる体制を調えることできるのか等を検討する打ち合わせ会議を開催しました。今年度は昨年同様9月3日(日)午後から恵那スケート場で「ワンバウンド・ドッジボール大会」を開催しました。皆さんからは、今以上にスポーツをする機会を増やしていただきたいとの要望が多くあるため、冬季にスケート場を利用してスポーツができるよう検討を進めているところです。</p> ・『子どもの健全育成』について <ul style="list-style-type: none"> 「運動習慣はじめの一步」プロジェクトについて <p>中部大学と市が連携し、市内公立こども園児を対象とした体力測定、保護者へのアンケート調査を実施しました。この結果を中部大学で集計・分析いただき、そのデータを基として「恵那市こども園運動プログラム」を作成しました。今年からは、各園で運動プログラムを有効に取り入れながら園での活動に生かしています。また、家庭での運動習慣を設けることも重要であるため、子どもと保護者を対象として「親子で運動遊びのつどい」を開催し、第1回をまきがね公園体育館、第2回を山岡B&G体育館で開催する予定です。</p> <p>本日は、この事業を進めていただいている当審議会の副会長でもある中部大学から、補足説明をしていただきます。</p>
副会長 (中部大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から子どもたちの体力テスト及び保護者へのアンケートを実施し、体力テストについては各園を訪問して指導させていただきました。その結果を集計分析し、各園にフィードバックしております。今年度は各園で体力テスト、アンケート調査を実施していただきました。その結果はすでにいただいておりますので、これから集計・分析を開始し、本年度の特徴、前年度との比較を行っていきます。また、今年9月には日本体育学会という全国的な学会があり、その場で昨年度のデータを分析した結果を参加者の前で報告させていただきました。その中での課題としては、各市町村でもこういった取り組みは始まっているが、いかに継続していけるかが課題であるとのことでした。現在の取り組みを継続していくためには、結果を正しく分析し、昨年作成した運動プログラムとうまく連動させながら子どもたちの運動能力向上につなげていくことが重要であると考えています。その外にこども園の先生方を対象とした指導者講習会や、親子を対象とした運動遊び交流会を開催しております。これらの取り組みについても継続して行っていくことが重要であると考えております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・『コミュニティづくり』について <ul style="list-style-type: none"> 「1地域1運動・スポーツ」プロジェクトについて

	<p>現在、地域自治区、スポーツ推進委員、地域スポーツ推進委員、体育協会等が連携しながら様々な取り組みが進められております。</p> <p>その中には、地域の各組織が連携し積極的に運動・スポーツ活動に取り組んでいる地域もあれば、できていない地域もあるということが昨年度実施したワークショップから見えてきました。今後は地域の中で各組織が連携し、1地域1運動・スポーツに取り組んで行ける地域環境をつくることのできるよう検討を進めていく必要があると考えております。地域単位で継続的な運動スポーツ活動を展開することによって、幅広い世代が集まり、地域コミュニティも生まれてくると考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『観光交流』について <ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ合宿誘致プロジェクト」について 現在、笠置峡ではオリンピックに参加するナショナルチーム、実業団や学生のボート合宿を誘致するためパンフレットを作成し、積極的に誘致活動を進めています。今年度すでにいくつかの実業団チームが笠置峡で合宿を実施しており、利用された皆さんから練習環境は申し分ないとの感想いただく中で、今年度は河川の調査等を実施し、よりよい練習環境等を整えるよう準備を進めています。 「鉄道とわがまちの魅力発見」プロジェクトについて 今年から、「明知鉄道ウォーキング」を企画し、継続的に開催していく事業として取り組みを始めました。 この事業は、市、市体育連盟、スポーツ推進委員、明知鉄道が連携して実施するもので、スポーツツーリズムの観点から、運動・スポーツを通じた健康づくり、仲間づくり、観光資源の活用、明知鉄道の利用促進を目的として、今年度は「野志駅～山岡駅かんてんかん」までの13.4キロメートルと、6キロメートルの2コースで開催します。地域住民単位のウォーキング等は多くありますが、土日開催で明知鉄道を利用し、市民全体を対象としたウォーキングは実施されていません。また、親子での参加は休日開催でないとなかなか難しいため、ファミリーでも参加しやすいウォーキングとして開催します。 ・『競技力向上』について <ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ指導者・ボランティアバンクプロジェクト」について 市体育連盟において、「スポーツ指導者・ボランティアバンク」として登録いただける市民の皆さんを改めて再度募集し、スポーツ指導者として58人、ボランティアとして26人の登録をいただきました。今後指導者やボランティアの派遣依頼があった場合に活用していくこととしています。 ・「その他」について <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがプロスポーツなどのハイレベルなプレーを目で見て憧れ、高い目標を持って練習に取り組むことができる雰囲気を作り上げるため、FC岐阜ホームタウンデーにおいて練習見学ツアーを実施しました。市内から45人が参加し、間近でプロのプレーを見てきました。こういった経験が子どもたちの夢に向かって頑張るきっかけとなることを目標として実施しました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・『スポーツ推進を担う人材・組織の役割』について <ul style="list-style-type: none"> 地域で活躍されている運動・スポーツ組織が、地域といかに連携しながら一体感をもって取り組んでいくことができるのかを検討するため、運動・スポーツに関わる皆さんを集め、情報提供や事例発表を行いながら地域活動の参考となる場を作っていくよう準備を進めています。

	<ul style="list-style-type: none"> 『スポーツ環境・施設の活用と整備方針』について 身近な運動・スポーツ施設は、地域のコミュニティセンターを位置付けていくよう検討しています。 総合運動施設については、「まきがね公園」が市の運動スポーツ施設の拠点として位置付けられています。現段階において、まきがね公園体育館、野球場、テニスコートの改修を予定しており、調整を進めています。 クリスタルパーク恵那スケート場については、今年度からセンターハウス2階の一部を開放し、親子で来場しても遊具やブロックなどで自由に遊ぶことができるスペースを設置しました。市内でもなかなかこういった場所は少ないため、来場された方々からは好評をいただいております。 公共施設予約システムについては、現在電話及び現地予約で運用しております。市民サービス向上の一環としてシステム化を図り、利用者の利便性を向上するため、導入に向けた準備を進めています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から中間報告していただきました。これまでの取り組みにおいて、ご質問等があればお願いします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域1 運動はいつから始まっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から地域において順次進めていただくこととなっています。昨年度地域自治区会長会議において、各地域で何か1つ継続した運動・スポーツ活動に取り組むことができるよう検討を進めていただきたいとお願いをしました。ただし、地域によって活動内容が様々であるため、期間を定めてはおりません。地域の運動・スポーツ組織が中心となって検討を進めていただくことになっております。このことについては、関係団体の皆さんもご理解いただいております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> エーナ健幸体操はいつから始まっていますか。学校等には特に取り組んでほしいというような話はなかったと思いますが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> エーナ健幸体操は平成27年度に作成されました。主体は、市食生活改善連絡協議会の皆さんが中心で、体操の動きについては運動指導士に依頼して作成しております。小中学校への啓発が少なかった理由としては、歌詞や動きが小さな子ども向けになっているため、市内のこども園を優先的に啓発したところかと思えます。現在こども園では、朝運動の時間にエーナ健幸体操に取り組んでいるところもあると聞いております。その他は、「えなっコチャンネル」やインターネットで動画配信を行っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 合宿誘致についてお尋ねします。ボート・カヌーチームの合宿についてですが、実際に実業団チームが練習をしているようですが、選手やコーチの感想としてどのようなことを言われたのかお聞きしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今日も実業団チームが大会前の調整として利用されています。ただ笠置峡はダム湖であり、水位の変動が大きいダムでもあります。ダムの放流に伴い水位が下がるとボートを出すための場所を確保することが難しい状況になることなども確認できました。合宿をされた方々からの感想としては、波や風の影響を受けにくい地形であること、直線距離が長い、渓谷美もすばらしく、練習環境としては申し分ないとの感想をいただいております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 笠置峡を利用される方々は、トイレ等をどうしているのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 笠置峡について練習環境の問題ありませんが、トイレ等の設備が整備されていません。現在は近くの恵那北中学校の屋外トイレを借りている状況です。今後はトイレも含め周辺の付帯設備についても検討を進めていくところです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピックに向けての対策は進めているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は河川調査を実施し、今後は栈橋を含めた付帯施設の整備を実施できる

	<p>よう準備を進めて行きます。ナショナルチームの誘致については、笠置峡を利用された実業団チームの監督が海外合宿されるときに誘致パンフレットを持参していただき、積極的にナショナルチーム等へPRしていただいているところです。またニュージーランド大使館等へも働きかけている状況ですが、現在のところ、海外チームが合宿するという申し出はない状況です。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市で行う競技会場は最低限の設備状況であると思われます。各大会を開催するにあたっては、選手規模によって隣市の競技場を借りなければならない場合もありました。市にもしっかりした競技場を確保してほしいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ただ今のご意見につきましては、市としても各団体から多くの要望があることを認識しております。今後しっかり検討を進めて行きたいと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市のスポーツ施設については、大きな改修が必要な時期にきていると認識しています。スポーツ推進計画策定時にも施設改修について様々な要望をしましたが、満足いく結果とはなっていないのが現状です。しかし、近年の人口減少、少子高齢化等の状況を考えると、一つの市が多くのスポーツ施設を設置、管理していくことも難しくなっていることも理解しています。今後は、計画的に広域連携しながら施設整備を進めていく必要もあるのではないのでしょうか。 市に現存しているスポーツ施設や今後見込まれる学校跡地等を有効に活用していく方法としては、一箇所にスポーツ施設を集約するのではなく、この地域はこの競技施設があるなど色分けを行い、市全体で各種スポーツ競技場を整備していく方法も考えていくことが必要ではないかと考えています。各競技団体から公式大会が実施できる競技場は、しっかり整備していただきたいという意見もいただいていることを伝えておきます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> まきがね公園の改修については現在どのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現在まきがね公園の改修については、「体育館」、「野球場」、「テニスコート」の3施設を次年度に改修するよう準備を進めています。今後は工事費を確定後、予算要求していくところです。ただし、財政的な問題もあり、担当課としてしっかり説明しながら進めていきたいと考えています。まきがね公園は昭和63年の竣工後、大規模な改修は行わず指定管理者の適切な維持管理によって何とか30年間維持してきた施設であります。年間約16万人の方々が利用される施設でもありますので、できる限りの改修が実施できるよう説明して行きます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続きこども園の保護者アンケートを実施されていますが、集計結果等から見えた課題等があればお教えいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの中で保護者から多くあったのは、「近くに歩いていける公園がない」という意見が最も多くありました。回答者の半数近くは、「歩いていける公園等がない」との回答があり、近くにある方でも平均7分程の移動が必要という状況でした。地域によってそれぞれ課題があると感じました。また、体力面については、子どもに対して「どのようなことをすればよいのか分からない」との意見も多くいただきました。これらの状況を踏まえて、日常的に親子でできる運動を紹介するため、保育教諭への運動指導や、親子でできる運動体験会を実施しております。
会長	<ul style="list-style-type: none"> こども園では、親子で体を動かす体験会等を実施していただいて、保護者からの反響等はありませんでしたか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 参観日のときに運動遊びを取り入れたりしています。こども園としても、毎年生活アンケートを実施していますが、回答の中からは、「普段から子どもと触れ合えていない」、「子どもと向き合っているつもりでも実際に向き合えていな

	い」等の意見もありましたので、こういった機会や情報を保護者に届けながら続けていっていただければと思います。
会長	・小中学校では体育専門の先生は多いのでしょうか。小学校においても体育専門の先生がいれば担任の負担も軽減されると思うのですが、今後の体制として何か検討はされているのでしょうか。
委員	・小学校は、方法として低学年、中学年、高学年の各年代で中心となる体育教師が配置できれば、今まで以上に学校体育を推進することができると思います。
会長	・小学生のうちに体力を付けることによって将来的に運動能力が伸びていくことも考えられると思うのですが。
委員	・昔は学校活動でなくても自然の遊びの中で身につけてきたものではあります。教育委員会の人事も含めてスポーツに関わる教員の充実について考えていく必要があると思っています。
副会長	・9月の学会でスポーツ庁長官も幼少期の運動習慣について話していました。その一つとして、小学校に体育専門教師を配置することにも触れていました。また学会のなかでも頻繁に言われるのは、学習面、運動能力面においても経済格差の影響が出てくるのではないかということです。子どもたちがスポーツに触れる機会が「習い事」になってしまうと、ここで格差が生じてしまう。学校教育の体育という子どもたち全員に与えられた時間でどれだけ能力を伸ばしていけるのかということが重要な課題になると感じています。
委員	・昔は体操といえばラジオ体操しかなかった。今は勤務先で毎朝ラジオ体操を行っています。ぎふ清流国体時の「ミナモ体操」や最近できた「エーナ健幸体操」など様々な体操をそれぞれ年代に合わせて取り組んでいるようですが、私はラジオ体操しかよく分かりません。ラジオ体操はほとんどの年代の方が分かるため、子どもたちも含め継続的に取り組んでいくことが必要だと思います。
事務局	・市職員も、平成27年から毎朝始業前にラジオ体操実施しています。様々な体操がありますが、統一感をもって体操を続けていくことが重要であると考えております。
会長	・学校ではラジオ体操に取り組んでいるのでしょうか。
委員	・運動会前に実施したりする学校もありますが、多くはストレッチを中心に実施しており、ラジオ体操は行わない学校が多いと思います。小学生は、夏休み期間に地域で毎朝実施している。
委員	・自分の地域にある小学校は、普段ラジオ体操ではなくストレッチを実施していた。ラジオ体操であれば保護者も一緒にできるので、ラジオ体操に取り組んでいただけるといいと思います。
委員	・学校体育としてどの体操がよいのか検討する必要があると思います。ラジオ体操を実施するのであれば、全校統一して取り組んでいきたいと思っています。
委員	・みんなの体操は高齢の方や障がいをお持ちの方でも座ってできる体操もある。市として統一した取り組みをしていただきたいと思います。
委員	・6月4日に開催された「健幸フェスタ in えな」でも会場の皆さんに正しいラジオ体操の動きを見せながら普及活動をしています。2年前にラジオ体操指導者講習会にも参加し、指導者資格を取得してきました。機会があれば学校へ出向き子どもたちに指導することもできるかと思います。
委員	・何かに取り組む場合は、どうしても経費が発生すると思われます。行政として何か支援していることはあるか。
事務局	・市及び体育連盟から毎年地域の体育協会等へ補助金を出しています。金額としてはあまり多くないため、場合によっては地域自治体の体育振興費等から支援

	<p>いただくところもあるかと思えます。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育連盟は、過去競技スポーツを中心に事業を進めておりました。今回スポーツ推進計画及び行動計画は、競技力向上は基より、運動・スポーツを通じた健康づくりを理念として策定され、計画に定めた目標数値に向かって事業を展開していくこととなっています。しかし、市はスポーツと健康づくりが別組織で事業を推進しているため、計画に沿った事業を進めていく上で、体育連盟としての方向性がはっきり示されていないと感じています。今後市として、スポーツ部門と健康づくり部門の担当課が歩調を合わせ、体育連盟と連携して取り組んでいけるようしっかり調整していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市は医療費が年々増大し、これを削減するための施策として「運動・スポーツを通じた健康づくり」というもの打ち出してスポーツ推進計画及び行動計画を策定しました。しかし、元来スポーツというものは、全国大会やオリンピックなど、トップアスリートを育てるという本来の目的を達成するため環境を整えるというところもあります。体育連盟は、施設管理業務を行いながらこの競技力向上に関する分野を担っていただくため、市としてどの競技に力を入れ、今後どのような強化を図っていくのかなどの目標を掲げ、市体育連盟としての役割を明確にして行きたいと考えております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育連盟としては、市の福祉部門と調整してスケート場で障がい者スポーツ交流会を開催しました。また、市主催のウォーキング大会にも協力するなど、様々な分野に協力しながら競技スポーツの振興も進めていきたいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育連盟として、競技力向上と健康づくりのどっちつかずの状態になることが一番心配であります。本来、体育連盟は競技力の向上という非常に大きな柱を掲げています。市としては医療費の削減を目指すという大きな施策として位置付けているが、市の組織としてスポーツ分野と健康づくり分野が分かれているため、どこが担当していくべきなのか明確化されていないところもあると感じています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期から日常的に体を動かすことが成人しても自然と運動習慣が身につけている、これが将来的に底辺の拡大につながっていくと考えています。また、アンケート結果から 30 代、40 代の運動活動が少ないというデータもあります。これらを改善するひとつの施策として幼少期からの運動習慣を身につけるということが重要ではないでしょうか。こういった機会をたくさん作り、子どもたちが運動する喜びや楽しさを肌で感じてほしいと思います。 計画としては、子どもから高齢者までを対象としているため、焦点が絞りにくい部分もありますが、委員の皆様からより多くの意見をいただくことでよりよい運動・スポーツ環境をつくり、将来的に健康寿命を伸ばしていけるよう市として考えていっていただきたいと思えます。 本日はこれをもって第 1 回スポーツ推進審議会を終了させていただきます。

－ 以上 －